

日本語と英語の「filler words」ということ Japanese and English Filler Words

Rosalyn Denton

82-273: Structure of the Japanese Language

1. はじめに

私のトピックは、英語と日本語の「filler words」だ。「filler words」っていうのは、会話の間を埋めるための単語だ。日本語を話す時に、「あのう」とか「なんか」とか「さあ」とかをよく使うけど翻訳するのは簡単じゃないと思う。英語も「um」とか「like」とか「you know」という「filler words」がある。言葉を翻訳しなくて、感情を翻訳するのはとても面白いと思う。データについて、まずはいろいろなアニメを見ながら、例を探す。その後、ネットでちょっと研究をして、日本人の友達の感想を聞くつもりだ。そうすると、「filler words」を使う時が分かると思う。

2. 日英語比較

2. 1. 日英語の違いのデータの分類

例	英語	日本語
---	----	-----

1. 彼氏彼女の事情 創刊号	Tsukino: <u>But you know</u> , the amount of passion Sis puts into her image is amazing.	月野： <u>でもさ</u> 、本当にお姉 ちゃんの見えにかける情熱 ってすごいよね。
2. 月刊少女野崎く ん 創刊号	Chiyo: That's not what I meant... <u>Um</u> , I always want to be with you, Nozaki-kun! ... <u>Or</u> <u>something like that...</u>	千代：そうじゃなく て。。。 <u>その</u> 、野崎くん と、ずっと一緒にいた い！。。。 <u>ていうか</u> 。。。
3. 月刊少女野崎く ん 第二号	Chiyo: <u>He's ridiculously</u> gaudy! <u>And a little</u> scary!	千代： <u>なんか</u> すごいけばけ ばしてるよ！ <u>それになんか</u> 怖いよ！

2. 2. 日英語の違いの説明

まず、例1の「you know」と「でもさ」を比較する。「でもさ」とか「あのさ」は文をもっとやさしくしたいからまだちょっと考えている感情がある。でも「you know」の場合は、ちょっと積極的に確認するため意味がある。

次は、二番目の「something like that」と「ていうか」を比較する。「ていうか」のは、話題を転換したり、言い直したりしたい時に使うそう。 「something like that」というのは、言ったことは本当

に言いたいこととちょっと違うけど、言い直さない。つまり、言ったことはちょっと違うからもっとやさしくなる。

次の「なんか」を翻訳するのはちょっと難しい。私の意見で、「なんか」は「like」みたいけど三番目の例には「like」を使わなかった。「like」の使い方は、話しながら考えたかったら言える。でも使いすぎたらちょっと未熟だからできるだけ避ける方がいい。「なんか」の場合は、願望とかがはっきりしなかったら使う。ほかの使い方ははっきりした訳もなく、ある感情が起こる時に言える。

2. 3. 日英語の文化的見方の違い

一番目の例の違いは、英語の方は直接的に確認を求める。日本語の場合は、ちょっと躊躇して、間接的に確認を求めるようだ。つまり、アメリカでは「直接」の方がいいが、日本ではそれより「間接」の方がいいようだ。

二番目の「something like that」を使ったら、言ったこととちょっと遠くなるが、「ていうか」の方が言ったことを言い直したい感じがある。

三番目の例で、日本語は「なんか」を使ったから文はもっとやさしくなった。でも、英語の文は「なんか」とか「like」を使わなかったから、文はちょっと強いと思う。アメリカでは、そんな直接的な言い方はあまり悪くないと思うけど日本では駄目だそうだ。

3. おわりに

基本的には、英語の「filler words」を使って、不確かな感じがあると思う。日本語は英語と似ているけど日本語の場合は、もっと言い直して、最適な言葉を言いたいそうさ。アメリカでは「filler words」を使いすぎなくて、直接的に言った方がいい。でも日本ではちょっと躊躇して、間接的に言うのはたいてい大丈夫だそうさ。実は、時々そんな言い方を使った方がいいそうさ。

データの出典

1. 彼氏彼女の事情 (1998年) 創刊号
2. 月刊少女野崎くん (2014年) 創刊号と第二号

参考文献

2014年 <http://dictionary.goo.ne.jp/>

2014年 <https://www.msu.edu/course/jpn/202/aisatsu.html>